

Rotary
第2760地区



世界に希望を生み出そう

プライド
ブランド
未来へ!!

8

2023.月信

VOI.02

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



豊田市役所 産業部 商業観光課 提供

2023-24 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760



2760

プライド
ブランド
未来へ!!



表紙のお話



豊田市役所 産業部 商業観光課 提供

豊田おいでんまつりは、マイタウンおいでんとおいでん総踊りからなる「踊り」と、「花火大会」で構成される豊田市が誇る夏の一大イベントです。「WE LOVE とよた」「魅力発見」「ふるさとのまつり」を基本テーマに、市内外にとよたの魅力を発信します。

今年の7月30日(日)に開催された花火大会では、創作花火やメロディ花火など全国屈指の花火師による豪華作品をお楽しみいただきました。

C contents

- 1 表紙のお話・目次
- 2 ガバナーズメッセージ
- 3 8月 会員増強・新クラブ結成推進月間
- 4 特集：ガバナー活動報告7月8日 クラブ活性化セミナー（全体会議）
- 5 特集：ガバナー活動報告7月8日 クラブ活性化セミナー（ワークショップ）
- 6 特集：豊田ロータリークラブ紹介



例会出席の意義

2023-24年度がスタートして1か月が経ちました、それぞれのクラブの皆さんは、新しい会長・幹事のもと新鮮な気持ちで過ごされていると推察いたします。私自身もガバナーに就任し、改めて職責の重さと責任を痛感しているところであります。地区の運営等に積極的に参加頂きながら、クラブがより活性化することを切に願います。

さて、ガバナー月信に毎月投稿するに当たり、地区内の皆さんに何を伝えればいいのか考えたところ、毎月テーマを決めそのことについて投稿しようと思います。このガバナー月信を私自身の勉強の場と考え、一生懸命執筆してまいります。よろしくお願いいたします。

この8月のテーマは「例会出席の意義」としました。新型コロナウイルスが5類に変わりコロナ前に戻りつつあるなか、通常の例会に戻してほしい旨の連絡をさせて頂きました。よって例会出席の意義を今一度考えようではありませんか。

ロータリーが単なる寄付団体、慈善団体又はボランティア団体ならば毎週例会に出席する必要はないでしょう。極端に言えば一度も例会に出なくても寄付さえしておけばいいのかもしれない。ロータリー運動は倫理運動であり、人の心を重視する優れた精神的奉仕を目的として追求する団体ですから、倫理を提唱していく為には、まずロータリー会員自身が心を磨かなければなりません。決められた例会に出席して親睦を重ね、他の会員の良質な言動に接して自己改善を重ね、奉仕の心を醸成しそれを実践するよう自己研鑽するところが例会です。人間の精神的持続には限りがあり、せいぜい一週間だと言われています。親睦→奉仕の心→実践、そして一週間経ってまた、親睦→奉仕の心→実践と繰り返しながらロータリーの心を形成していく場所が例会であります。ロータリー会員として奉仕の実践の第一歩は例会出席にあると言えます。

たとえ話ですが、スイスの片田舎に一人のお婆さんが住んでいました。お婆さんは箆に羊毛を入れて小川で洗っていました。そこに神父さんが通りかかり『お婆さんは毎週教会に来て私の説教を聴いているので、さぞ物知りになられたでしょうね。』と尋ねました。お婆さんは『聴いてもすぐに忘れてしまうので何も残っていません。然し私はそれで良いと思っています。神父さん、箆の中を見てください。水は入っては流れ、入っては流れていますが箆の中の羊毛はこんなに綺麗になって行きます。神父さんの話を聞いては忘れ、聞いては忘れませんが、私の心は綺麗になって行くと思います。』と答えたそうです。

「ロータリーの親睦」と「例会出席の意義」を噛みしめ、この老婆のように、焦らず、楽しいロータリーライフを送って頂きたいと考えます。



2023-24年度 ガバナー 酒井 法丈



有言実行!

当地区では、1年に300名以上が入会し、300名以上が退会しています。沢山入って沢山辞めているのです。ところがそれをほとんどの方が知りません。昨年末、クラブ会長レベルの方達に聞いてみたところ、入会退会共にずっと少なく思っている方が9割でした。この事実をまず知っていただく! 退会防止の大切さをわかっていただく! 今期の目標のひとつがこうして定まりました。

退会はクラブへのNO! クラブに入り、ロータリーを体験した方のNO!です。付け焼き刃の対策ではどうにもなりません。会員増強の究極の目的である「クラブ強化」なくしては退会防止は不可能です。本丸である「クラブ強化」の問題に真っ向から取り組むべき時が来た、と第2の目標も定まりました。

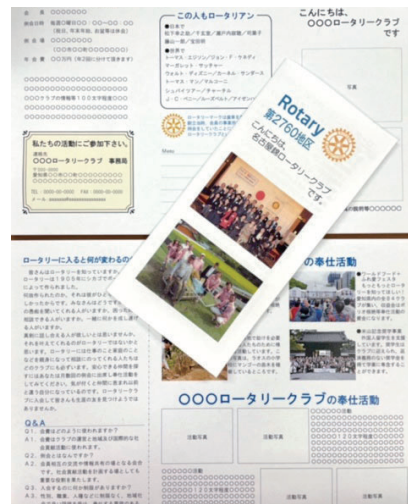
クラブの多様化が加速しています。昨年度、卓話や女性の集いのPRで地区内の7割のクラブにお邪魔しましたが、ひとつとして同じクラブはなく、似ている、というクラブすらありませんでした。「用があったら、なんでも言ってくださいね」とお願いしていますから、多くのクラブから多様な要望が寄せられます。昨年度は「お望み、全てお応えしましょう!」の覚悟で、新規事業を沢山立ち上げました。会員増強最優秀クラブ表彰、セミナー後の懇親会での情報交換、「ロータリー女性の集い」は対面とzoomの2回行ない、男女半々、延べ200名の参加をいただきました。会員勧誘に使えるクラブリーフレットの配信も開始し、拡大委員会と連携すべくオブザーバーとして委員会に同席させていただきました。

初めてのことづくめの1年でしたが、会員増強が1年では成らぬと同じく、これら活動も1年では決して実を結びません。私共は事ある毎にクラブの皆様へ、「会員増強に大切なのは継続ですよ、連携ですよ」と申し上げてきました。有言実行! 会員増強委員会は昨年度立ち上げた事業を今年度も継続し、クラブに根付かせるべく努力を続けます。同時に新たなご要望あらば、それにもお応えします。

会員増強委員会は頑張るクラブの応援団。今期も10名のメンバーが地区を走り回ります!

地区会員増強委員長

石井 弘子
(名古屋錦RC)



クラブリーフレットと作成例です。

今期委員会メンバーです。



全体会議について

令和5年7月5日水曜日16時より、愛知県産業労働センター「ウイングあいち」にて、2023-24年度クラブ活性化セミナーが開催されました。セミナーの構成は、5階の小ホールにて全体会議を行い、その後11階と12階の会議室(10部屋)に分かれて、グループディスカッションを行い、再び5階の小ホールにて講評を頂き、19時にセミナーは終了しました。

全体会議の内容は、酒井ガバナー、岡部地区研修リーダー、高山ロータリー財団委員長、石井会員増強委員長、堀尾公共イメージ向上委員長の挨拶が有り、その後「Grow Rotary」のテーマのもと酒井ガバナーの講話を頂きました

その講話の内容は、地区方針の「培おうプライド、育もうブランド、そして未来へ!!」2000年から2022年までのロータリークラブの流れや転換期となりえる出来事など、多岐に渡ったお話でした。最後に伊藤ロータリー財団地域コーディネーターより講評を頂きセミナーを終了しました。

地区副幹事 **松井 博文**
(豊田RC)



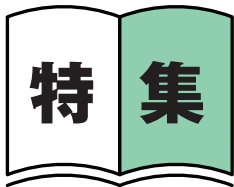


ディスカッションの効用

クラブ活性化セミナーに参加した84クラブの代表者は10グループに分かれディスカッションに参加した。そのディスカッションでの進行は研修実行委員会のファシリテーター10名が各グループを担当し、事前アンケートによる各クラブの状況を把握しつつ進めていった。各グループセッションには財団、会員増強、公共イメージの各委員会の委員も同席し、後日質問に対するフィードバックのため、熱心にメモを取りながら参加した。各クラブからの参加者は必ず発言する機会が与えられるため、自クラブの活動や、会員増強、退会防止策などについて、淀みなく軽やかに意見交換が進んだ。ディスカッションは参加者から多く意見を聞くことができ、他クラブの活動や運営方法から多くのヒントやアイデアを得ることができる。ディスカッション終了後、今年度に取り入れたい活性化のアイデアを見つけたという声も多く聞かれた。

地区研修実行委員長 **照井 栞**
(名古屋大須RC)





2023-24年度 豊田ロータリークラブのご紹介と会長あいさつ



豊田ロータリークラブは1960年10月28日大野修司会長のもと、この地に誕生し、翌1961年4月8日に国際ロータリー加盟認証伝達式を行い地元産業の発展とともに、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕に熱い思いを注ぎ63年を迎えました。

当クラブの創立60周年記念式典は2021年6月24日ホテルトヨタキャッスルにて行いました。本来は、創立記念日の2020年10月28日に記念式典、11月7日に記念事業「未来になり響く!!とよたミュージックアワード2020」と題し、豊田市駅前通りを歩行者天国にして大々的に実施する予定でしたが、コロナ禍で中止となりました。代わりに、「緊急事態特別拠出基金」を立ち上げ今後の災害に備えることにしました。また、寄付金事業として、豊田市教育センター様やロータリー日本財団様、ロータリー米山記念奨学会様に寄付をいたしました。

クラブテーマ『手を取り合おう、希望にむけて』 2023-24年度の杉浦毅会長あいさつ

RIのテーマ‘世界に希望を生み出そう’の壮大なテーマから趣旨を考え「温故知新」という言葉にたどり着きました。自身の人生やロータリー活動を充実したものにするために過去の事実を研究し、そこから新しい知識や見解を開くこと。すなわち、以前のリーダーたちの良い発想を前進させる継続と、勇気をもって変化を加える改革との融合が、新たな夢や希望に繋がっていくということです。

このことはロータリーのビジョン声明に通じるものだと考え、「私達は世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、継続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」

現在100名を維持する私たち豊田ロータリークラブ会員は、行動人として個々に優れたポテンシャルを持っています。そしてクラブは人材の宝庫です。その一人一人の培ってきた目的意識が手を取り合って同じ方向に向いたなら、そのパワーは計り知れません。それはクラブ内のみならず、地域の関わりあう人々への影響も大きいはずで、互いの価値観を認め合い、共に行動しましょう。

社会奉仕事業

社会奉仕委員会が企画する地区補助金事業

昨年度より継続事業として、障がい者と介助犬を結びつける日本介助犬協会より講師をお招きし、介助犬の役割の実演やその必要性を多くの市民に知っていただき、障がい者の自立した社会の実現に向けた仕組みづくりを行ってまいります。そして本年は来場者数91,000人、企業団体120の参加する「とよた産業フェスタ」で10月1日にこの事業を開催します。



職業奉仕事業

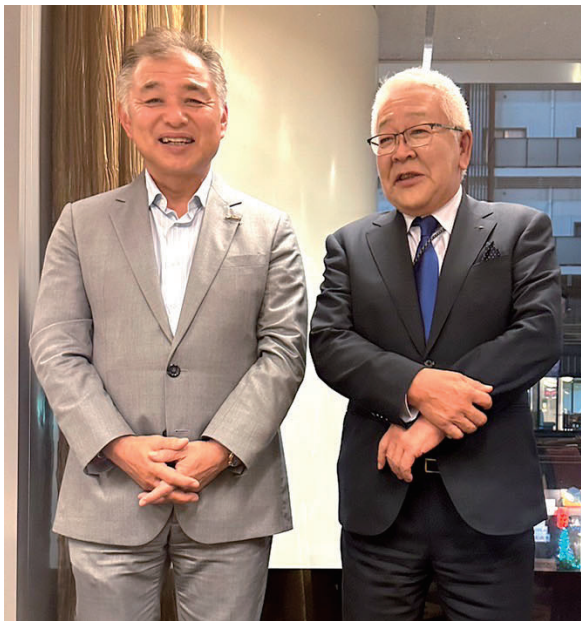
「フォーラムエイト・ラリージャパン2023」開催

本年11月16日～開催しますFIA世界ラリー選手権(WRC)第13戦「フォーラムエイト・ラリージャパン2023」の観戦。

豊田市の「ENJOY! RALLY JAPAN」の合言葉に地元開催で大盛り上がりのこのラリーの魅力を楽しみながら環境に優しい大会を観戦してまいります。

豊田スタジアム競技場や山間地をコースとして走る、私たちの住む身近な所で行われる世界イベントのラリーを職業奉仕事業として捉え、楽しみながら観戦したいと考えます。

そしてこの事業が今後、当ロータリークラブとしてどのように応援していくかを考えてまいります。



本年度は当クラブから17年ぶりに第2760地区ガバナー酒井法丈君を輩出します。クラブのチャンスとして捉え、全面的にバックアップしてまいります。そして多くの会員が役職者としても出向いたします。63年のクラブ史に残る偉大な出来事として捉え、豊田ロータリークラブの全員が手を取り合って支援してまいります。

また、当クラブは当然ながら地区大会、西三河中分区IM、RFFに全員登録をしております。そして、国際大会にも多くのメンバーが、ガバナーナイトなどに参加するように調整してまいります。

皆様もガバナーのご支援と大会のご参加をどうぞよろしくお願い申し上げます。

2023-24年度豊田ロータリークラブ幹事 小野 雅道